

だれでも幸せになれる教えです!!

# ひかり

2017年

4月

140号



宗教法人 真生会

平成二十九年信仰目標

衆善奉行  
しゅうぜんぎやうぎやう

(たくさん善いことをする)

徳の器を大きくする

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

# 開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁  
た なか ひで ひと

人生には常に苦勞がお供している。苦勞こそ發展へのエネルギーである。私には考えています。

中天高く飛ぶロケットには必ず尻に火がついている。人世も斯くの如く、尻に火のつく問題があればこそ、知恵もしぼり行動力も生まれてくるのであります。困った困ったと頭を抱える人ほど、なまけ者であり行動力がない。困るといふ字の枠（□）を取ってごらんなさい。困るといふ字は成り立たない。困る人、悩める人の考え方は、自分中心であって誠に視野が狭いのであります。

お釈迦さまの考えは広大深遠であって「三界はわが有なり、その中の衆生は皆わが子なり」とおっしゃって見えます。人間は心の広さだけ向上し、進歩發展があるのです。（真実に生きるひかり84号より）

# ぶし眞教法話

会長 田中庸仁  
たなか ちゆうじん

## ◇信仰者と凡夫の違い

雑阿含經ぞうあこんきやうというお経に「箭經せんきやう」という短い教えがあります。

ある時お釈迦さまが、弟子たちに尋ねられました。

「人は誰でも、美しいものや嬉しいことに出会えば『楽しい』と思い、病气や失敗や失恋など痛い目にあえば『苦しい』と思うだろう。それでは、仏教を学んだ者とそうでない人の差はどこにあるのだろうか？」

弟子たちは答えに困り、教えて頂きたいとお願いします。

## ◇二の矢を受けず

お答えは「第二の毒矢や（箭）を受けない」ということでした。

仏教を修行している人も、していない人も、「楽しい」「苦しい」という感情の第一の矢は受けます。しかし、仏教を知らない人達は、その感情がどんどん膨らみ底無しの泥沼に入り込んでしまうのです。例えば、失恋や受験の失敗や

失職など後から考えてみれば小さな出来事でも、必要以上に悲しんだり苦しんだりして心に致命傷を負い、自殺してしまう人もいます。

仏教という正法を得た人は「受」すなわち受け止め方が違うのです。

「身受」といって第一の矢を身に受けても、「心受」第二の矢を心に受けないのです。

① 楽受・・楽しいことに出会うとそれに執着し、『もつと欲しい』と貪りの念を起こす。

② 苦受・・苦しいことに出会うとそれに執着し、『イライラ』と瞋りの感情を起こす。

③ 非苦非楽受・・自分の興味のない事つまらない事には楽しくも苦しくも感ぜず無関心となります。無関心過ぎることもよくないのです。

マザーテレサも「愛の反対は憎しみではなく無関心である」と言っています。裏を返せば興味のあることだけに執着し『物事を有るがままに見ることができない』愚痴の煩惱に囚われてしまうからです。

## ◇ビギナーズ・ラックも第二の矢

悪い事ばかりではありません。ギャンブルやパチンコや宝くじなど何の努力もしないのにいきなり大当たりを引き当てるとドンドンのめり込んで、家族に迷惑をかけ、家土地まで失う人もいます。もつと欲しいもつと欲しいという欲の心が第二の毒矢なのです。

趣味も同様です。楽しいことにのめり込みすぎると煩惱に振り回され、今しなければならぬこと、何が大切なことなのかを見失ってしまうこともありません。

## ◇病<sup>やまい</sup>は第一の矢、気は第二の矢

五十数年ぶりの小学校の同窓会で岐阜に帰省され、総本山に参拝されたご信者さんが、楽しかった同窓会のこんな報告をして下さいました。

「会長先生、五十年ぶりの再会でしたが、話をし出すといっぺんに小学生時代に逆戻りし大変楽しいひと時でした。しかし、さすがに七十近くなり頭の禿げた人、白髪になっている人など見た目は年相応となり、出てくる話題も病氣

や体調の話が多かったです。」

ある友人が、「自分は今、筋無力症にかかり、だんだんと力を失い、いずれ動けなくなると思うとお先真っ暗だ。次回はもう会えないかもしれない」と悲壮な様子でした。

そこで私は、「私は二年前に前立腺がんのステージ4と診断され、手術もできなと言われ、今も投薬治療を続けているが経過も良好だし、毎日が楽しくイキイキ生活しているんだよ。おまえも元気を出せよ」と励ましました。

すると「お前はどこからそんな元気が出てくるんだ」と不思議がります。

そこで私は今こそ教えを伝える時だとここぞとばかりに言いました。

「それは法華経という信仰をしているお陰なんだ。仏教には第一の矢は受けても第二の矢は受けられないという教えがあるんだ。私も前立腺がんという「病」の第一の矢は身に受けたけれど、教えのお陰で「氣」に第二の矢が刺さらなかったから、こうやって明るく元気にいられるんだよ」と甦よみがえる教え法華経のすばらしさをお伝えされたそうです。

これこそ体験仏教、真生会の菩薩行であると嬉しくお聞きしました。

お釈迦さまも最後は病気で入寂されました。わが開祖さまも生身の人間ですから、晩年病気で入院された時もありましたが、主治医に「私は闘病は致しません。病氣と握手していきます」といつも明るく笑顔でおられ、看護婦さんの中に開祖さまのファンが大勢出来ました。開祖さまの教え、お人柄に感化された結果です。

### ◇読経供養の功德

このご信者さんは、所沢教会の近くにお住まいですから、毎朝教会の日参に行かれ真剣に読経供養をしておられます。

特に教会長さんから「法華三部経」読誦の修行をされるといいとのこと指導を受け、四百二十五ページ、三十二品の三部経ほんを発病以来毎日ご自宅で一品ずつ読誦され、もう十回まわ回りになるそうです。最初は意味も解らず苦痛でしたが、最近は少しづつ意味も解り、お経を読むことが楽しくなってきましたとのことです。

経文に「色相しきそうの文字は即ちこれ応身おうじんなり。無量の功德皆この経に集まれり」



とあります。つまり、經典の文字に現わされた一字一句は、仏さまの真理の教えであり、仏さまのものなのです。だからお経の中には計り知れない功德が全部集まっているのです。

毎日お経をあげるといふことは毎日仏さまに直接お会いしていることであり、唱えるお経の声は、お釈迦さまのお説法を直接聞いていることであり、知らず知らずのうちに仏さまの法、真理が心にしみこんでくるのです。

信仰は受持（信）、読、誦、解説、書写といつて「信じる心」が中心であり、大黒柱です。その信という柱を支え、苦楽という変化に揺れ動かされない信念を支える基礎作りの第一歩が「読、誦」なのです。

何十階という高層ビルも基礎が大きく深くしっかりしていればこそ地震にも風雨にも耐えていられるのです。信仰も毎日の読誦修行が苦を乗り越え幸せな人生を打ち立てる基礎なのです。

みなさん粘り強く続けましょう。きつと何事にも動じない人生が渡れるようになります。

# 今月の運勢（5月）

（2017年5月5日～6月4日）

## 一 白水星

今年一番の低迷の時期。自分らしさを心がけ、謙虚さを忘れず誰にでも平等に接すること。初心に戻り、最後まで困難にくじけないこと。真剣な祈り、先祖供養が天に通じ守られる。

## 二 黒土星

攻めの姿勢より協調と調和を旨とし、何事も受け入れる包容の心が大切。慌てずコツコツと地固めをする時。先頭に立つのではなく、目上や長を敬い素直に従えば吉となる。

## 三 碧木星

明るい挨拶、元気な声、

相手に勇気を与える言葉を発しよう。びっくりする様なことが起こっても動揺したり慌てない。自分を失わずに悠々としていれば後から福が付いてくる。

## 四 緑木星

絶好調。活動の時であるが独断専行ではなく、信頼のできる人に従って行動すれば吉となる。相手の気持ちを汲んでよく面倒を見れば運氣はますます向上する。

## 五 黄土星

前進することより回数か月の活躍を振り返る時。心身ともに疲れを癒し、次なる行動に

備えてエネルギーを蓄えよう。新規事業には手を出さないこと。今は思索の時と心得て。

## 六 白金星

充実の時、何をやってもうまく行く。但し、理にかなったことを一貫性をもって続けることが大切。余計なことを考えず、天の後押しのお陰を感謝して行えば、目上からの応援がいただける。

## 七 赤金星

人との嬉しい出会いに喜びが湧き上がる月。但し調子に乗って散財をしたり、羽目を外さないよう注意すること。優しさや思いやり

のある言葉を心掛けること。

## 八 白土星

動かざること山の如し。ドンと構えて周囲の変化に動じないこと。進み続ける歩みを一旦止めて状況を確認してみよう。欲を離れば判断を誤らず、動じることはない。

## 九 紫火星

太陽の日に照らされる全体のことがよく見える時。反対に周囲からも見られているので言動は慎重にしよう。気分も明るく、アイデアもよく浮かぶが周りの意見もよく聴くこと。争い事は避けること。

## しあわせ眼鏡

有漏路あろうじ（前世、迷いの世界）より  
無漏路むろうじ（来世、悟りの世界）に  
帰る一休み  
雨降らば降れ  
風吹かば吹け（一休さんの句）  
この世は  
仏になるための修行  
だから  
どんな変化にも動じない  
なんとかなるさ  
気にしない執とらわれない

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |          |            |  |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>TEL 058 - 235 - 7304       |
| 【所沢教会】   | 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1-9-5<br>TEL 04 - 2992 - 8236     |
| 【名古屋教会】  | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3-10<br>TEL 052 - 351 - 3904    |
| 【岐阜教会】   | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19<br>TEL 058 - 262 - 9615        |
| 【大阪教会】   | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り  
します。詳しくはお尋ねください。